

# 西山実議員が初の代表質問



2月16日開会した3月定例議会は、市長の所信表明に対する各党派の代表質問が2月28日行われました。日本共産党甲賀市議員団は、西山実議員が初めての代表質問にたち、①新型コロナウイルス感染拡大・医療体制の抜本的な強化、②市民のいのちと暮らしを守る立場から国政の焦点と市長の政治姿勢について、③岩永市政の評価と課題、④新年度予算案の問題点について具体的に指摘しながら、市民の要求実現を求めました。(写真は初の代表質問に立つ西山議員)

きたいと答弁しました。

西山議員は冒頭、新型コロナウイルスが感染症法上の位置づけが、2類から5類へと変更されることについて、「医療体制の強化抜きに引き下げれば医療現場の混乱は避けられない」と指摘、実態把握・検査拡充、医療体制の強化、中小零細業者に継続的な財政支援を求めました。これに対し市長は、「引き続き感染対策は必要。国や県に対しても必要な対策を要請してい

国政の焦点と市長の政治姿勢については、敵基地攻撃能力の保有、核兵器禁止条約、気候危機、原発や消費税問題など岩永市長の政治姿勢を質しました。敵基地攻撃能力の保有について市長は「安保政策の大きな転換であり、国政の場において幅広い議論が必要」と述べ、原発や消費税減税、選択制夫婦別姓についても「国において適切に判断すべき、国の動向を注視していく」と、自らの所見を述べることを避けました。

の医療費無料化、学校給食費の無償化を要求。また加齢性難聴に伴う補聴器の購入に補助する自治体が増えている点を紹介しながら、甲賀市でもぜひ実現を求めました。市長は給食費を無償化するには約4億円の予算が必要で財政的に厳しい、国や県が方向性を示すべきと述べました。このほか、市職員の時間外労働が増え、「午前零時を超えて退庁」する職員の実態を早期に是正し、業務量の見直しと職員の適正配置を求めるとともに、地域包括支援センターが民間委託されるなど、アウトソーシングについての課題と問題点を指摘しました。

## 一般会計予算に岡田議員が反対討論

令和5年度一般会計予算は、総額439億円。対前年度比6.3%増、過去最大の予算規模となっております。その要因は、合併特例債を活用した水口中央公民館や児童クラブの新築工事など大型公共事業が数多く予算化されているため。財源不足を基金から約37億円繰入しているのも特徴です。岡田議員は、広島平

和記念式典への小学生派遣事業がカットされている問題、また民間への業務委託が拡大されている点を指摘、また市民の切実な要求である子どもの医療費無料化拡充、学校給食費の無償化、加齢性難聴者への補聴器購入に補助などが予算化されていない等の点を指摘し、反対討論しました。

旧水口町の時代から長年にわたって毎年8月6日に市内の小学6年生28名を広島平和記念式典に参加して語り部さんからの話を聞くなど、県内でも誇るべき平和事業が、新年度予算で計上されなかったことに、市内各団体の代表が復活を求める緊急申し入れを行いました。



## 甲賀市が誇るべき平和施策 広島平和記念事業復活を

緊急申し入れには、甲賀市平和委員会、戦争させない甲賀市民の会、新日本婦人の会甲賀支部の代表のほか、日本共産党甲賀市議員団、日本共産党甲賀市委員会の小西喜代次委員長、無党派で立憲民主党滋賀県連合会幹事の福井進議員、無党派の田中喜克議員も緊急申し入れに参加。「コロナ禍のもとでこの3年間中止せざるを得なかったことは理解するが、オンラインを活用するとか、さまざまな工夫をして実施継続するべき」と強く申し入れました。応じた副市長は「予算化しても実施できない時期が続いた。平和事業そのものは大事であると理解する。どういう形にすればいいのか、検討している」と回答しました。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2023年 4月 16日 第445号



山岡 光広  
甲南町森尻 16  
Tel 86-2985  
Fax 86-0415



岡田 重美  
土山町南土山甲 78-15  
Tel 66-0696  
Fax 66-0696



西山 実  
水口町本丸 3-28  
Tel 62-3044  
Fax 62-3044